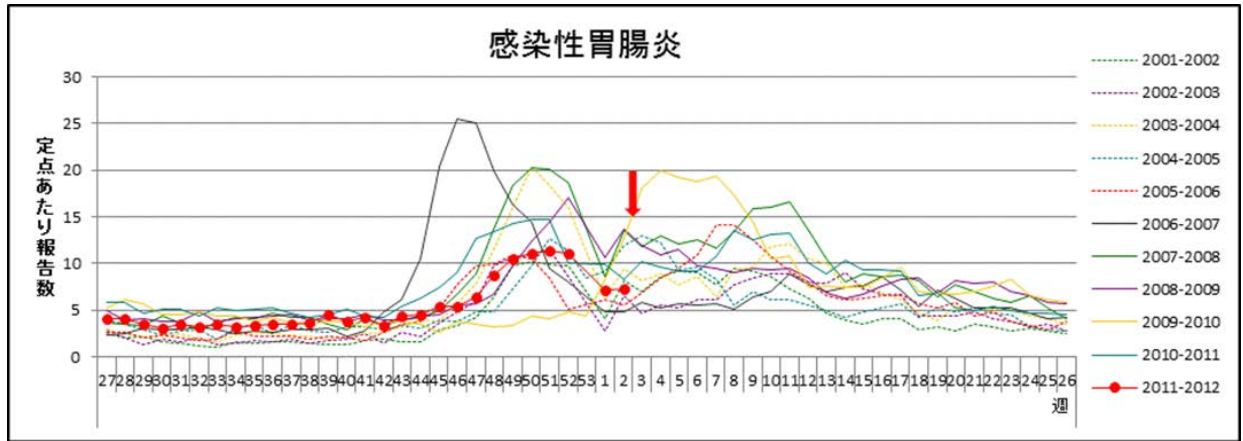


感染性胃腸炎情報 第 2 週 2012 年 1 月 9 日～1 月 15 日

- 岡山県内の患者報告数は 396 名（ 定点あたり 7.33 人 ）で、前週よりわずかに増加しました。
- 備北地域・岡山市・真庭地域で患者が増加しました。



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週よりわずかに増加しました（ 54 定点医療機関 定点あたり 7.17 → 7.33 人）。備北地域（ 7.25 → 10.50 人）、岡山市（ 5.57 → 7.57 人）、真庭地域（ 3.00 → 7.00 人）で増加し、倉敷市（ 8.73 人）では患者が多い状態がつづいています。患者の年齢分布は 0-4 歳の低年齢層が約半数を占め、また今週は 5-9 歳の増加も目立ちます。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。手洗いを徹底するなど感染予防に努めましょう。

冬の集団発生事例の原因はノロウイルスによるものが多いと言われ、現在、岡山県では『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令し、食中毒予防を呼びかけています。

- ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省）
- ・[家庭等一般の方々へ](#)
- ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)

